



1. 「作家による作品イメージ」2016年

注目作家紹介プログラム チャンネル8 「井上涼 忍者と県立ギョカイ女子高校」展

アーティストメッセージ

こんにちは、井上涼です。私はここ数年、美術をテレビ番組を通して紹介するという仕事に生活の半分くらいを使って過ごしてきました。その中で、いろいろなアーティストの人生に触れ、彼らがどうアートと暮らしたかを知りました。離島でひとり絵を描いた人や、平和のために絵を描いた人、自分で耳を切った後も絵を描いた人など、「どんだけ〜」と思うほど彼らはアートに人生を費やしていました。それらのことを知り、自分にとって作品をつくることは？アートとはなんであろうか？、と考えずにはいられませんでした。私もアーティストを名乗る端くれなのです！

そして、考えた末に得られた答えは「ウケ狙い」です。歴代のアーティスト諸先輩方に対してあまりに小さいテーマですが、この10年と少し、私はウケたいがために作品を作ってきた、という答えが一番嘘のないものでした。これが古くから言い伝えられる「関西人の血」というものでしょうか。ですから、私の作品は難しく考えず単純に楽しんでくださればよいと思っております。それが、数多くの偉大なアーティストの人々に対してでも、私が臆せずと言える唯一の意志です。



開催趣旨

兵庫県立美術館では2010年より毎年「注目作家紹介プログラム〈チャンネル〉」を開催してきました。8回目の今年は、兵庫県小野市で生まれた井上涼（1983～）の個展を開催します。

井上は美術大学在学中から言葉と音とイメージが絶妙に戯れあう映像作品を制作してきました。大学卒業後、商業デザイナーなどを経験した後、作家活動に専念。数々の映像作品を生み出す一方で、ライブ・パフォーマンスなども精力的におこなってきました。時に社会的なメッセージも潜ませたユーモアあふれる作品は、幅広い世代の心を揺さぶる力強さを持っています。

本展では、「忍者と県立ギョカイ女子高校」と題する井上の新作映像インスタレーションが登場します。井上の独特の言葉使いとメロディに乗って空間に映しだされる作品の舞台は、魚介類が通う女子高「県立ギョカイ女子高校」。主人公は忍者Bと忍者C。空間のいたるところに繰り返し現れる忍者Bと忍者Cを追いかける物語が、ひとつのミュージカル作品のように展開されます。見る、聴く、感じる、笑う、泣く。本展は、人間の感情や感覚が凝縮された井上涼ワールドの魅力と謎に迫ります。

※「注目作家紹介プログラム チャンネル」は、担当学芸員がいま最も注目すべきと考える作家を個展形式で紹介してきました。美術館を訪れる人と同時代を生きる美術作家が、さまざまな「チャンネル」を通じ出会う機会となることを目指しています。

注目作家紹介プログラム チャンネル8
「井上涼 忍者と県立ギョカイ女子高校」展

開催情報

会期：2017年8月26日（土）- 9月24日（日）

休館日：月曜日

（9月18日（月・祝）は開館、翌19日（火）は休館）

開館時間：午前10時～午後6時

（特別展開催中の金・土曜日は午後8時まで）

会場：兵庫県立美術館ギャラリー棟アトリエ1

観覧料：無料

主催：兵庫県立美術館

後援：公益財団法人伊藤文化財団

助成：

公益財団法人朝日新聞文化財団

公益財団法人中内力コンベンション振興財団

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団



平成29年度 文化庁

文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業



アトリエの壁面4面(できれば天井にも)に、プロジェクターで
3D映像を投影します。全部の画面は機材によって同期させるので、
会場全体を使って、ひとつのストーリーが展開していくミュージカルのような
イメージです。上映時間はおよそ10分程度で、椅子にすわたり
立ったままで歩き回ったりして見るようにします。

主人公は忍者で、あちこちに現れるので $\{0 \neq 0\}$ 楽しめます。
あちこち見たり こちこち見たり

また会期中にこの会場で井上のライブなどができたらよいなど
考えています。壁4面を使ったライブ演出をしたいです。

井上 涼 (いのうえ りょう) 略歴

1983年 兵庫県小野市生まれ 現在、東京都在住
 2007年 金沢美術工芸大学デザイン学科卒業

【主な展覧会】

2014年 「こどもと美術を楽しみたい！キラキラ、ざわざわ、ハラハラ」
 横須賀美術館（神奈川）
 2015年 「マチルダ先輩と忍者合唱団」アーツ千代田 3331（東京）
 2016年 「井上涼のとらとらまごまご」大原美術館（岡山）

【主な活動等】

NHK E テレビ番組「びじゅチューン！」映像制作
 （美術作品をアニメーションとともに紹介）(2013年～)
 毎日小学生新聞「美術でござる」連載（2016年～）
 奈良市紹介「奈良ならナラナラ！」映像制作（2015年）
 奈良市ニュース（ダイバーシティ取り組み紹介）映像制作（2016年）
 奈良市ニュース（18歳選挙権）映像制作（2016年）
 はこだてみらい館にてアニメワークショップ実施（2016年）

【受賞等】

2007年 BACA-JA 映像コンテンツ部門佳作受賞
 （卒業制作作品《赤ずきんと健康》）
 2016年 国際子ども番組映像祭「プリ・ジュネス」
 7～10歳ノンフィクション部門ベスト3
 （NHK E テレビ番組「びじゅチューン！」）



参考 1

*画像提供：作家



参考 2



参考 3



参考 4



参考 5

参考 1・2・5
 「マチルダ先輩と忍者合唱団」より（アーツ千代田 3331）2015年

参考 3
 「こどもと美術を楽しみたい！キラキラ、ざわざわ、ハラハラ」より
 （横須賀美術館）2014年

参考 4
 「井上涼のとらとらまごまご」より（大原美術館）2016年

関連イベント

(1) 展覧会オープニング記念イベント
「井上涼の凱旋?ヘタウマコンサート」

展覧会のオープンを記念して井上涼によるコンサートを行います。コンサート後には、DVD 販売、握手・サイン会を開催します。

日時：8月26日(土) 午後5時～6時半

場所：アトリエ1

料金：無料

定員：先着80名

午後2時から美術館ホワイエで整理券を配布します。整理券番号順に午後4時半より会場にご入場いただきます(自由席)。

(2) 「井上涼とアニメをつくろう」

作家とともにアニメを制作します。

日時：9月23日(土) 午後1時～3時

場所：レクチャールーム

料金：無料

対象：小学生以上(小学生2年生以下は要保護者同伴)

定員：20名

要事前申込・先着順

7月25日午前10時より電話受付開始

TEL 078-262-0907

(3) 展覧会クロージングイベント「井上涼のトーク&ミニコンサート」
(聞き手：本展担当学芸員)

展覧会のクロージングイベントとして井上涼によるトークとミニコンサートを行います。コンサート後には、DVD 販売、握手・サイン会を開催します。

日時：9月23日(土) 午後4時～5時半

場所：アトリエ1

料金：無料

定員：先着80名

午後2時から美術館ホワイエで整理券を配布します。整理券番号順に午後3時半より会場にご入場いただきます(自由席)。

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用に用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901 (代表)

FAX: 078-262-0903

http://www.artm.pref.hyogo.jp

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 (グループ直通)

FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：村田大輔

e-mail: murata@artm.pref.hyogo.jp

いずれも、TEL: 078-262-0909 (学芸直通)

FAX: 078-262-0913

[同時開催の展覧会]

「怖い絵」展

7月22日(土) — 9月18日(月・祝)

[横尾忠則現代美術館での同時開催]

開館5周年記念展 横尾忠則 HANGA JUNGLE

9月9日(土) — 12月24日(日)

交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分

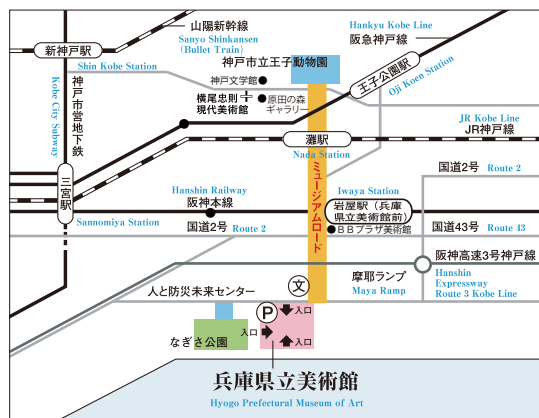
阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分

JR三ノ宮駅から、阪神バス「HAT神戸行き」、神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場/乗用車80台収容・有料

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

※団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



注目作家紹介プログラム チャンネル8

「井上涼 忍者と県立ギョカイ女子高校」展

2017年8月26日(土)～9月24日(日)

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年 など
1	「作家による作品イメージ」2016年
2	「作家による展示プラン・説明」2016年

- ※上記作品画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。
- ※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。
- ※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。(会期終了まで)
- ※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- ※ウェブサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。
- ※基本情報、図版使用の確認のため、**ゲラ刷り・原稿**の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・ウェブサイト	『	』
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着 希望日	

- ※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、**お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URL**などを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。
- ※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。